公益財団法人朝鮮奨学会2022年度大学・大学院奨学生の募集

2022.4.11

1　応募資格・・・以下のすべてに該当する者

1)　韓国人または朝鮮人で、在留資格が「留学」の私費外国人留学生

2)　2022年4月1日現在で学部学生（30才未満）、大学院正規課程（40才未満）である者。また、いずれも、2022年4月1日現在で残在学期間が１年以上ある者。なお留年者は応募不可。

3)　採用された場合には、財団の諸行事に出席すること。

4)　成績について、学部1年生の場合は、高校3年次の評価値が5段階で原則3.2以上、学部2年生は修得総科目の成績評価値が原則として2.7以上であること。

＊継続応募者及び特別永住者は，財団へ直接応募してください。

2　支給額及び支給期間

学部　月額２５，０００円

博士課程前期　月額４０，０００円　博士課程後期　月額７０，０００円

支給期間　１年間(2022年4月～2023年3月)

３　応募の流れ

① 応募者自身が財団ホームページのインターネット専用受付ページのインターネット受付フォームに登録する。http://www.korean-s-f.or.jp/02-02.htm

② 入力内容をまとめた帳票をPDF出力する。→留学生課に提出

※本登録の入力の基本情報17の「留学生の学内選考」については２．未了（推薦番号なし）を選択して下さい。

４　応募書類

1)　WEB願書のPDF帳票

2)　研究計画書（所定様式、A4用紙2枚組、大学院生のみ提出）

3)　在学証明書　（2022年4月1日以降発行のもの、コピー不可）

4)　学業成績証明書（学部以降直近のものまで、直近のものはコピー不可）

学部学生・・・・現課程のもの（学部1年生は高校3年次のもの。調査書でも可）

大学院生・・・・現課程のもの（MC1年生は学部のもの、DC1年生はMCのもの）＋前課程のもの

※　別紙成績評価係数算出方法を参照の上、算出した値を鉛筆書きで記入すること。

※　直近のものはコピー不可。

5)　在留カードの写し（両面）

6)　収入・所得証明書類（課税・非課税証明書）

7)　私費外国人留学生身上調書（所定様式）

8)　家計状況申告書（所定様式）

※　７），８）については、2022年4月以降に他奨学金の申請で提出済の場合は不要。

9)　推薦書（所定様式、大学院生のみ提出）

４　推薦人数　　学部生・大学院生各1名

５　申請書類の提出先　　教務課国際交流係

６　締切日　　2022年4月21日（木）

2022 年度に併給不可または本奨学金と同額以上である他奨学金に受給決定の者ならびに申請中の者（直接応募含む）は、選考対象外です。

総長特別奨学生で大学推薦された場合、博士後期課程の者を除き受給期間中（2022 年前期～）の授業料免除申請はできません。

公益財団法人 朝 鮮 奨 学 会

2022 年度　大学・大学院奨学生募集要項

１．応募資格

■ 学部生

①日本の大学の学部(学士課程、専門職大学、短期大学も含む。通信課程は除く)に在籍している韓国人・朝鮮人学生(特別永住者証明書・在留カードの国籍表示が韓国もしくは朝鮮)。本国からの留学生を含む。

②成績が優良で学費の支弁が困難な者。

③2022 年４月１日現在、満 30 歳未満の者(継続応募者は除く)。

【成績について】

・学部１年生の学業成績は、高校３年次の成績評価値が５段階で原則 3.2 以上であること。

・学部２年生以上の学業成績は、修得総科目の成績評価値が原則 2.7 以上であること。

※本会評価値で算出（GPA 評価ではありません）

【2021 年度本会の大学(学部)奨学生であった場合】

・学部在学中で学年が進級した者は継続生として応募できる。

・短期大学卒業後、４年制大学の３年生以上に編入した者は新規生として応募できる。

・2021 年度に採用されたのち途中辞退した場合は新規生として応募できる。

・留年した者、学部を卒業して学士編入した者は応募できない。

【2021 年度本会の大学(学部)奨学生でなかった場合】

・新規生として応募できる(過去に本会奨学生であって 2021 年度本会奨学生でなかった場合を含む)。2021 年度本会の高校奨学生だった者も新規生として応募できる。

・高等専門学校(高専)の専攻科に進学した者は、新規生として応募できる。

■ 大学院生

①日本の大学院(博士課程･修士課程･専門職課程。通信課程は除く)に在籍している韓国人･朝鮮人学生(特別永住者証明書･在留カードの国籍表示が韓国もしくは朝鮮)。本国からの留学生を含む。

②成績が優良で学費の支弁が困難な者。

③2022 年４月１日現在、満 40 歳未満の者(継続応募者は除く)。

④法科大学院の未修コース(３年制)に限り２学年以上の者。

⑤日本学術振興会の特別研究員及び次世代研究者挑戦的研究プログラムの受給者は応募できない。

【2021 年度本会の大学(学部)奨学生であった場合】

・進学して修士･専門職１年生になった者は新規生として応募できる。

【2021 年度本会の大学院奨学生であった場合】

・同じ課程(博士･修士･専門職)で学年が進級した者は継続生として応募できる。

・修士･専門職課程から進学して博士１年生になった者は新規生として応募できる。

・2021 年度に採用されたのち途中辞退した場合は、新規生として応募できる。

【2021 年度本会の奨学生でなかった場合】

・新規生として応募できる(過去に本会奨学生であって 2021 年度本会奨学生でなかった場合を含む)。

■ 応募資格の留意事項

・休学している者は応募できない。
・研究生、別科生、専攻生、聴講生は応募できない。
・大学院において各課程の最短履修年限を超えて在籍している者は応募できない。
・過去に博士課程(博士後期課程)において２年間受給した者は応募できない。
・新規に応募する韓国人留学生(前年度奨学生ではない)は個人で直接応募できない。
「４．**応募方法**」の「②留学生」を参照すること。
・本国からの留学生で、交換留学生として在学している者は応募できない。

２．奨学金金額と募集人数

課程	奨学金金額	募集人数
学部生	月額　２５,０００円	７７０名
修士課程・専門職課程	月額　４０,０００円	１１０名
博士課程	月額　７０,０００円	

※本会奨学金は給付制であり返還の義務はない。給付期間は１年間(４月～翌年３月まで)。

３．募集期間

2022年4月11日(月) 13:00 ～ 5月13日(金) 17:00

４．応募方法

① 特別永住者等(永住者、定住者、家族滞在などを含む)
・個人で<u>直接応募できる</u>。
② 留学生
・<u>継続生</u>として応募する者は個人で<u>直接応募できる。</u>
・<u>新規生</u>として応募する者は<u>個人で直接応募できない。</u>
※大学の奨学金担当部署を通じて応募すること。
※大学ごとに募集方法が異なるので、大学の担当部署に問い合わせること。
※ただし、<u>2021 年度本会の大学･大学院奨学生であった場合は個人で応募できる</u>。

５．応募書類と手続き

・本会ホームページからインターネット受付専用ページにアクセスする。

必要書類	手順	学部生	大学院生	手続き
①WEB 願書	1	●	●	インターネットの専用フォームに入力
②在学証明書				インターネットの専用フォームで画像をアップロード
③学業成績証明書				
④国籍･在留資格を証明する書類				
⑤所得証明書類				
⑥研究計画書	2	×		指定クラウドへのアップロード
⑦推薦書				

・学部生は「手順 1」で手続が完了し、「手順 1・完了メール」が届く。
※上記のメールが 24 時間以内に届かない場合は本会に電話連絡すること。
・大学院生は「手順 1・完了メール」に記載されている「手順 2（⑥研究計画書・⑦推薦書）」の手続きを完了すること。

■ 応募手続き・書類作成に関する留意事項

・入力と必要書類については「奨学金応募の手引き」(別紙)をよく読むこと。

■ 応募完了後の留意事項

・応募完了後に住所変更などが生じた場合は、必ず「応募登録内容 訂正・変更届」を提出すること(「応募の手引き」参照)。

■ 提出書類の偽造について

・「課税・非課税証明」の数字を書き換えた文書・データを作ることは、「公文書偽造罪」もしくは「電磁的記録不正作出」に該当する可能性があります。

・「在学証明書」、「学業成績証明書」等の偽造・改ざんについても、「公文書偽造罪」、「私文書偽造罪」もしくは「電磁的記録不正作出」に該当する可能性があります。

６．選考と結果

・書類審査と必要により面接審査を行う。面接を行う場合は別途通知する。

・選考結果は、継続応募者は６月中旬、新規応募者は７月中旬までに応募者本人および各大学宛にメールまたは書面で通知する。選考結果についての問い合わせには応じない。

７．その他

・採用された学生は本会の諸行事に出席しなければならない(対象地域の者)。また、学業状況・生活状況等について報告するレポートを年に２回提出しなければならない。

・≪個人情報の取り扱いに関して≫応募書類によって得た個人情報は、選考および応募者本人との連絡以外の目的には使用しない。ただし奨学金の重複受給を確認する目的に限り、他の奨学団体に姓名・生年月日等を開示することがある。

・受理した応募書類等は返却しない。本会の規定に基づき処分する。

事務所所在地・連絡先

〒160-0023　東京都新宿区西新宿 1-8-1 新宿ビルディング９階
電話 03-3343-5757（電話対応時間 平日午前９時～午後５時）
※応募者本人並びに学校関係者の問い合わせにのみ対応いたします。

ホームページ　http://www.korean-s-f.or.jp

＊＊

公益財団法人 朝鮮奨学会について

＊＊

〇本会の歩みと現在

朝鮮奨学会は日本で勉学している同胞学生を支援するための奨学育英機関で、１２０余年の歴史があります。

１９４３年、日本政府から公益事業をする「財団法人朝鮮奨学会」としての認可を得ました。

歴史の流れとともに幾多の変遷がありましたが、１９５７年に所属団体や思想･信条の違いなどを超越し、在日同胞が一致団結して理事会を再建しました。その後、日本の学識経験者とともに理事会・評議員会を構成して今日まで同胞学生のための育英事業を推進しています。

奨学会は現在、東京の新宿（本館）、代々木（別館）、大阪（関西奨学会館）にビルを所有し、これらの基本財産から得られる収益で、日本の高校・大学・大学院で学ぶ同胞学生に奨学金を給付するなどの事業を行っています。奨学会は日本政府からも本国の南・北の政府からも財政的援助を受けず、自主財源のもとに運営されています。

２０１２年7月３１日、新公益法人制度のもと公益認定を取得し、同８月１日、「公益財団法人朝鮮奨学会」に移行しました。

〇主な事業

朝鮮奨学会は、成績優良でありながら学費の支弁が困難な在日同胞学生と留学生に奨学金を給付しています。

大学・大学院の奨学生は１９６１年からの本格的な奨学金給付事業の再開以来、延べ約３万６千名、高校・高専の奨学生は１９６６年以降で延べ約５万名になり、その奨学事業費の総額は約１６５億円に達します。

奨学生を対象に講演会や国語講座、ウリマル発表会を行い、会報誌「セフルム」を通して民族の心と文化を育み、交流会や懇談会を開いて親睦をはかっています。また、大学院生の研究発表会を開催し、学術研究の奨励を行っています。

公益財団法人朝鮮奨学会定款

第２章　目的及び事業

（目的）

第３条　この法人は、日本の諸学校に在学する韓国人・朝鮮人学生等の奨学援護を行うとともに、学術奨励と研究助成を行い、もって有為な人材育成と国際交流に寄与することを目的とする。

（事業）

第４条　この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

(1) 奨学金給付
(2) 学生支援及び学術研究奨励
(3) 会館の運営
(4) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

奨学金給与規程

※公益財団法人移行に伴い、新しい定款に基づく「奨学金給与規程」を現在策定中です。

第１章　総　則

財団法人朝鮮奨学会寄附行為第４条に基づきこの規程を定める。

（奨学生の資格）

第１条　本会の奨学生となるものは、韓国人・朝鮮人であって、学校教育法第1条に規定する高等学校、大学（大学院を含む）に在学し、学業、人物ともに優秀で、かつ健康であって、学資の支弁が困難と認められるものでなければならない。

2022年度 公益財団法人朝鮮奨学会　大学生･大学院生

奨学金応募の手引

【注意事項】

・応募に関する問い合わせは、応募者本人が行うこと。
・応募は応募者本人が行うこと。保護者など本人以外の入力が判明した場合は、選考の対象外とする。
・入力内容に虚偽があることが判明した場合は、選考の対象外とする。
・応募書類の不足(本会より不足書類の督促は原則行わない)や入力不備は、選考の対象外とする。

※2021年度より他奨学金との併給を可としています(日本学術振興会特別研究員及び次世代研究者挑戦的研究プログラムを除く)。他奨学金の決定・応募については、申請フォームに入力すること。

■手引 Ⅰ：インターネット受付について

1. **エントリー**(仮登録)

「■手引Ⅱ」(P2～P4)に示す提出書類・画像を準備してから、エントリーすること。

① 本会ホームページ http://www.korean-s-f.or.jp/ の左側メニューから
「奨学生募集要項・応募書類」⇒「大学・大学院生」
⇒「2022年度　大学・大学院奨学生 募集」ページ
http://www.korean-s-f.or.jp/02-07.htm を開き
「インターネット受付専用ページ」にアクセスする。
※募集期間中のみアクセス可能。

② 奨学生申請 ページで「お名前」、「メールアドレス」などを入力し 同意して次へをクリックする。
※「お名前」は本名を漢字で入力すること。「名」に漢字がない場合は全角カタカナで入力すること。
※メールアドレスは、頻繁に(主に)利用(送受信)しているものを登録すること。

③ 次ページの「送信先メールアドレスの確認」の 送信 をクリックする。

④「no-reply@shikuminet.jp」から「【朝鮮奨学会】申請フォームのご案内」が送信されるので、メール本文の「会員登録ページ」にアクセスする。
※「会員登録ページ」の有効期限は、**24時間**なので、期限内に登録を済ませること。
※ 迷惑メール設定に留意すること。
※ 選考結果は、登録したメールアドレスに送信される。

2. **情報入力**(本登録)

■手順1(全応募者)

・【基本情報】、【世帯情報】に必要な情報を入力する。
・【その他の情報のご登録】に必要な情報の入力と、画像・各種書類のドロップ(アップロード)を行う。必ず、スキャナーまたは、スキャンアプリを使用すること。
※ 詳細は、4ページの**■手引 Ⅲ(P4)：本登録の入力について** を参照のこと。
・「登録」完了後の、登録内容の訂正・変更の手続きについては、**■手引 Ⅳ(P10)：登録内容の訂正・変更について** を参照のこと。

●登録完了後
登録完了メールが届くので必ず確認する。⇒マイページにログインする。⇒ホーム画面の「お知らせ」にある「登録情報の確認と帳票出力はこちら」を選択し、登録内容の確認⇒帳票(PDF)を出力またはデータ保存すること。(P11の画像参照)
※ マイページ右上の顔写真からも登録情報を出力できる。

⇒学部生の応募者は、以上で手続完了。
⇒大学院生の応募者は、手順2に進む。

■手順2(大学院生のみ)

・⑥研究計画書、⑦推薦書を手順1完了後に届く、メールに記載されているリンク先にドロップ(アップロード)すること。アップロードが完了すれば、応募手続完了。

※ 研究計画書、推薦書の書式は本会ホームページからダウンロードすること。

http://www.korean-s-f.or.jp/02-07.htm

※ ファイル名は「ID123456金奨学 研究計画書.pdf」、「ID123456金奨学 推薦書.pdf」のように、"ID"+"インターネット受付番号6桁"+"姓名+"応募書類名"とすること。"姓名"は漢字、カタカナどちらでもよい。

※ 複数ファイルをアップロードする場合は"姓名"の後ろに"01"、"02"等の枝番号をつけること。

※ 推薦書のアップロードは、指導教員が直接行っても構わない。

■手引 Ⅱ：応募書類について　※全ての証明書類の画像は必ず原本からスキャンすること。

1. **顔写真**(証明写真の履歴書用写真サイズ：タテ40mm×ヨコ30mm)

→正面、無帽、無背景で3カ月以内に撮影した証明写真をアップロードすること。

※スナップ写真・上半身・全身が写っているものは不可。

適切な写真の例	不適切な写真の例
・3カ月以内に撮影	・横を向いている
・髪の毛も含めた顔全体が収まっている	・頭部が切れている
・本人のみが撮影されている(背景になにもない)	・顔が髪の毛で隠れている
・焦点が合っている	・ピンボケしている
・鮮明である。明るさやコントラストが適切	・逆光
・縦横比が4：3 (40mm×30mm)	・縦横比が違う
・ファイルサイズが100KB以上、2MB以下のもの	・撮影の角度が正面からではない
・ファイルの拡張子がイメージファイルのもの	・上半身全部・全身が入っている

2. **在学証明書**

・2022年4月1日以降発行のもの。

・「学生証」不可。

・各大学の事務業務日時及び各種証明書の発行機の稼働日に留意すること。

3. **学業成績証明書**

・「成績通知書」不可。

・各大学の事務業務日時及び各種証明書の発行機の稼働日に留意すること。

① **大学院生**

・修士課程1年生は、学部時の全学年のもの。

・専門職課程 法科大学院既修コース(2年制)の1年生は、学部時の全学年のもの。

・博士課程1年生は、修士課程時の全学年のもの。

・2学年以上は、各課程での成績・取得単位が記載されているもの。

ア　博士課程で、現課程が修了するまで成績評価がなされない場合は、成績評価がなされない旨の証明書を提出すること。

イ　前年度に交換留学等をしていた者は、留学中の成績が現大学で単位認定(成績評価)されたものを提出すること。単位認定に時間を要する場合は、必ず本会に連絡をすること。

ウ　今年度入学の留学生は、入学時に在籍大学にて原本証明がされた成績証明書。

② **学部生**

・学部1年生は、高校3年次の全ての成績が記載されているもの(調査書の全項も可)。

ア　大学または専門学校を中退した後に学部1年に再入学した者は、高校3年次の全ての成績が記載

されている成績証明書を添付すること。
イ　今年度入学の留学生は、入学時に在籍大学にて原本証明がされた成績証明書。
ウ　9月入学の学部1年生は、学部1年次前期分の成績証明書を添付すること。
エ　日本語学校の成績証明書は、不可。

・学部2年生以上は、大学での全学年の成績・取得単位が記載されているもの。
ア　前年度に交換留学等をしていた者は、留学中の成績が現大学で単位認定(成績評価)されたものを提出すること。単位認定に時間を要する場合は、必ず本会に連絡をすること。
イ　編入学した者は、前学校(短期大学・高等専門学校・専門学校)の成績証明書と同時に、現大学で単位認定(成績評価)された証明書を添付すること。
ウ　学士編入した者は、前大学の成績証明書と同時に、現大学で単位認定(成績評価)された証明書を添付すること。

4. 国籍・在留資格等を証明する書類

・「特別永住者証明書」「在留カード」等(有効期限内のものに限る)の表裏の画像。
・カード類の有効期限切れ、切り替え中、またはカードを紛失した場合は、「住民票の写し(応募者本人の国籍及び在留資格等が表示されているもの、3カ月以内に発行されたもの)」を提出すること。

5. 所得証明書

①必要書類
・**役所で発行**された家計支社者1・2の「所得証明(課税/非課税証明書)」2名分
・「源泉徴収票」、「住民税課税決定通知書」は不可。
・父母がいる場合は、原則として父母2名分の所得証明を提出すること。
・家計支持者が無収入の場合でも、「非課税証」「사실 증명」を提出すること。
②家計支持者について
・父母がいる場合は、原則として父母2名を家計支持者(家計支持者1、家計支持者2)とする。
・以下に該当する場合、どちらか一方(1名)を家計支持者とする。
ア　父または母と死別した場合。
イ　父または母が行方不明の場合。
ウ　父母が離婚している場合で、親権者と同居していない場合。
エ　父母が離婚協議中であって、父または母から「所得証明書」を入手できない相当の理由がある場合(インターネット受付の【奨学金応募理由】欄にその旨を詳しく書くこと)。
※ア～エに関しては、後日、事実関係が確認できる書類を求めることがあるので留意すること。
③「応募者本人が主たる家計支持者の場合」(独立生計)
・独立生計の場合は、本人の所得証明を提出すること。
・両親等からの仕送りが一切なく、アルバイト収入や奨学金で生活しているだけでは、独立生計と認めない。ただし、以下4項目すべてに該当する場合は、独立生計と認め、応募者本人を主たる家計支持者とする。
ア　所得税法上及び健康保険上、父母等の扶養ではない(日本国外の同様の制度も含む)。
イ　父母と別居している。
ウ　父母等(配偶者除く)から経済的な援助を受けていない。
エ　本人(配偶者含む)に収入があり、所得申告がなされ所得証明書・源泉徴収票が発行される者。
④所得証明書の種類
《家計支持者が日本で就労する場合》

A　給与所得者 自営業者 年金受給者 無収入の者 など。	役所で発行された、2020年1月1日から12月31日分の収入(所得)が記載された**2021年度(令和3年度)の「所得証明書(課税/非課税証明書)」**を提出。 ※自治体によって「課税・非課税証明書」「所得証明書」「市民税・県民税課税(非課税・所得)証明書」など呼び方が異なる場合があります。各自治体に確認すること。

B　生活保護受給者	「保護決定(変更)通知書」(コピー可)をドロップすること。

《家計支持者が**韓国**で就労する場合》

C　給与所得者 自営業者等	2020年1月1日から12月31日分の収入(所得)が記載された2021年度の「소득금액증명」を提出すること。 ・所得金額を韓国ウォンレート 1 원＝0.096 円(2021.12.31 現在)で、日本円に計算して年間収入欄にその金額を入力すること。 ※給与所得者で「종합소득세 신고서(및 납부계산서)」は、不可。
D　無収入の者	「사실증명」2020年分(2020年1月1日～12月31日)
※証明書の姓名等が「***」等で目隠しされているものは、不可。	

《家計支持者が**その他の国**で就労する場合》

・当該国の2020年分の所得を証明する証明書を添付すること(日本語訳を添えること)。

6. **研究計画書**(本会所定様式2ページ)　※大学院生のみ

●1/2ページ

・データ入力のフォントは「ＭＳ明朝」、サイズは10.5pt以上とする(2/2ページも同様)。

・専門職課程の在籍者は学習の計画・状況(成績の順位等)を記述すること。

●2/2ページ

・【指導教員名】、【指導教員の研究テーマ】は、現課程の指導教員の研究テーマを記述すること。

・2ページ目に、記載する内容がない場合でも、必ず提出すること(専門職課程含む)。

●研究テーマ等の変更

・研究テーマ等に変更が生じた場合は「応募登録内容 訂正・変更届」を本会に提出すること。(P10の画像参照)

7. **推薦書**(本会所定様式)　※大学院生のみ

・推薦書を依頼する時は、応募者の①学業状況、②家計状況、③その他活動等についての記述を依頼すること。

・言語は日本語またはハングル。それ以外の言語の場合は、日本語訳を添えること(依頼時に申し添えること)。

・原則として、現指導教員の推薦書を提出すること(他大学・団体関係者による推薦書は、不可)。

・専門職課程で指導教員がいない場合は、在学する大学院の教員、学部長、クラス担当、奨学金担当者に依頼すること。

■手引 Ⅲ：本登録の入力について

※「No6」の「姓名(ハングル)」以外は、日本語(漢字・ひらがな・カタカナ)で入力すること。数字は半角で入力すること。

No.	項目	説明
基本情報		
1	応募日	応募日を選択すること。
2	応募種別	該当するものを選択すること。
3	前年度奨学生番号	継続応募者は必須。(例：111001(6 桁の数字)) ※2021 年度高校奨学生であった者も入力すること(例：101(3 桁の数字))
4	姓名(漢字)	仮登録の自動転記のため入力不要
5	姓名(フリガナ)	
6	姓名(ハングル)	わからない場合は、ローマ字記入可。

7	通称名	№4 姓名(漢字)と異なる名前で通学している場合のみ記入すること。 ①大学に通称名(日本名)で通学している場合。 ②大学にローマ字(パスポート表記名)で通学している場合。 ③№4 で、誤って上記①②を入力した場合は、漢字(を含む)名を入力すること。
8	パスワード	8 文字以上の半角英数字記号(半角英数字を最低 2 種類使用)
9	パスワード(確認)	
10	秘密の質問	質問を選択すること。
11	秘密の質問の答え	秘密の質問の答えを入力すること。
12	性別	該当するものを選択すること。
13	生年月日	該当する生年月日を選択。
14	年齢	該当するものを選択すること。4 月 1 日時点の満年齢。
15	国籍	該当するものを選択すること。二重国籍の場合、応募不可。
16	在留資格	該当するものを選択すること。 「特別永住者の配偶者」または、「日本人配偶者」の場合は「その他」を選択すること。
17	留学生学内選考(新規応募の留学生のみ)	新規留学生で、学内選考が完了していない方は応募できない。
18	留学生推薦番号(新規応募の留学生のみ)	新規応募の留学生のみ。 留学生推薦大学コードは、各大学の奨学金担当部署に問い合わせること。
19	出生地(国)	該当するものを選択すること。
20	出生地(都道府県、都市名等)	日本の場合は都道府県、日本以外は都市名等(例：ソウル特別市)
21	渡日年月	出生地で日本以外を選択した者のみ。 日本以外の国で出生した者は、渡日年月を選択すること。 わからない場合は、不要。
現住所・連絡先		
22	郵便番号	応募者本人が現在、居住する住所を入力すること。 ※町名、番地、建物名、部屋番号など記載もれがないように入力すること。
23	都道府県	
24	市区町村	
25	番地	
26	建物名・部屋番号	アパート、マンション名、号室まで必ず入力すること。
27	自宅電話番号・緊急連絡先	自宅または、本人に連絡が取れない場合の緊急連絡先。 保護者など、本人以外の連絡先を入力すること。
28	携帯電話番号(応募者本人)	応募者本人の携帯電話番号を必ず入力すること。
29	メールアドレス 1(ログイン)	仮登録の自動転記のため入力不要。
30	メールアドレス 2	上記と異なるメールアドレスを入力すること。
帰省先情報		
31	帰省先	該当するものを選択すること。
32	帰省先住所 (現住所と異なる場合)	現住所と異なる場合は記入すること。 (日本国外の住所も入力すること。郵便番号から漏れなく入力すること)
在学校情報		
33	学校所在地(都道府県)	該当するものを選択すること。
34	国公私立種別	該当するものを選択すること。
35	学校名(漢字)	大学の名称は省略しないこと。

		例：・東京→○、東大→× ・関西学院→○、関学→×、関西学院・大阪→× ・国際基督教→○、ＩＣＵ→× ・駒澤→○、駒沢→× ・慶應義塾→○、慶応→×
36	大学種別	学校教育法第 1 条に規定する大学(大学院を含む)に在籍すること。 専門学校は、資格対象外。
37	学校名(フリガナ)	カタカナで正確に入力すること。
38	学部/研究科	在学証明書にある正式名称を入力すること。(省略しないこと。)例：政治経済→○、政経→×
39	学科/専攻	
40	学部・研究科分類番号	所属する学部・研究科、専攻に近いと思うものを選択すること。
41	研究テーマ (大学院生のみ)	研究テーマを入力(大学院生のみ)。
42	入学年月日(現課程)	該当するものを選択すること。
43	卒業・修了見込年月日(現課程)	該当するものを選択すること。
44	課程	該当するものを選択すること。
45	学年	大学院生で、5 年一貫博士課程(前後期制)の場合は、修士課程、博士課程の該当年次で入力すること。 学部生は、在学証明書に記載されている学年を入力すること。
学歴		
46	学校名(小学校)	学校名は省略しないこと。 ※中・高校認定試験の場合は、その旨を入力すること。
47	学校名(中学校)	
48	学校名(高校)	
49	高校卒業年月	該当するものを選択すること。 ※高校認定試験の場合は、取得年月を選択すること。
50	学校名 1(大学・大学院)	卒業・修了・退学・その他の日付を入力すること。 編入学、休学、退学、留学(交換留学等)日本語学校の在学校歴も正確に入力すること。
51	1 入学年月	該当するものを選択すること。
52	1 卒業・卒業見込年月	卒業・卒業見込・修了・退学・その他の年月を選択すること。
学校名 2・3 については、学校名 1(大学・大学院)と同様。		
53	その他の学歴	その他学歴または記入欄不足の場合は、入力すること。
54	最終出身校	学部生は高校名、修士課程・専門職課程は大学と学部、博士課程は学部と修士課程を入力すること。 ・学部生→○○高校・修士課程→○○大学・博士課程→○○大学、○○大学院修士
55	朝鮮学校(日本所在)通学歴	合計年数を該当するものを選択すること。 ※幼稚園･保育園は含まない。 ※該当しない場合は、「0 年」を選択すること。 本国の学校に通学していた(留学生を含む)年数を選択すること。
56	韓国系学校(日本所在)通学歴	
57	本国の学校(韓国所在)通学歴	
主な職歴(応募者本人)		
58	勤務先名等	正式名称を入力、省略しないこと。 具体的な就業期間を選択すること。 ※アルバイト及びインターンは含まない。
59	勤務開始年月	具体的な就業期間を選択すること。
60	勤務終了年月	

61	備考(その他の職歴等)	
兵役など		
62	兵役開始年月	具体的な期間を選択すること。
63	兵役終了年月	
64	備考(その他の兵役等)	
学業成績と単位		
65	成績評価値　※本会評価値	**※成績計算表で計算すること(入力フォームと本会ホームページへのリンクあり)。** ［学業成績計算表］(Excel)で計算し、算出された本会評価値を転記すること(GPA ではないので注意)。Excel または互換ソフトが使用できない場合は、12 ページの画像を参照して計算すること。 ★小数第 1 位未満は四捨五入(例：4.29⇒4.3、3.72⇒3.7)。
66	取得単位数	【大学院生】 ア 2 年生以上は、昨年度までに取得した総単位数。 イ 修士・専門職課程 1 年生は学部時に取得した総単位数。 ウ 博士課程 1 年生は修士課程に取得した総単位数。 【学部生】 ア 学部 2 学年以上は、昨年度までに取得した総単位数。 イ 学部 1 年生は「0」を入力すること。
67	卒業・修了に必要な単位数	現課程の要卒単位(卒業・修了に必要な単位数)を入力。 分からない場合は、大学に問い合わせること。
68	履修時間数(医歯薬系等)	医歯薬系等で、成績証明書に記載がある場合は入力すること。
研究業績(大学院生のみ)		
69	既発表論文:海外誌	国内：日本・韓国朝鮮 海外：日本・韓国朝鮮以外の国
70	既発表論文:国内誌	
71	学会発表:海外(口頭)	
72	学会発表:海外(ポスター)	
73	学会発表:国内(口頭)	
74	学会発表:国内(ポスター)	
父母および家計支持者について		
本人が独立生計であっても父母(親権者)がいる場合は、入力すること。		
家計支持者 1 父・家計支持者 2 母		・父母については、収入がない場合・不明な場合等も入力すること。 応募者が既婚の場合、配偶者に関する家計情報は「家計支持者 2」に入力すること。 ・家計支持者 1・2 が父母以外の場合は、続柄を備考欄に入力すること(例：妻、夫、祖母、叔母など) ・本人が家計支持者(独立生計者)の場合は「家計支持者 3」に入力すること。 ・本人が家計支持者であっても父母(親権者)がいる場合は、「家計支持者 1・2」に入力すること。 ※その他、必要に応じて本会が指定する所得証明書を提出していただくことがある。
家計支持者 1 父・家計支持者 2 母		
75	姓名	応募者本人の親権者の姓と名を分けて漢字(ない場合は、カタカナ)で入力すること。 例：金　奨親

		※必ず**本名**で、入力すること。所得証明書が通称名の場合は、備考欄に通称名も必ず、入力すること。
76	年齢	4 月 1 日時点の満年齢　数字で入力すること。
77	居住形式	応募者本人からみて、該当するものを選択すること。 どちらも該当するものがない場合は、別居を選択し、その理由を備考欄に入力すること。
78	雇用形態	該当するものを選択すること。 ・専業主婦・主夫は、無職を選択すること。 ・死別などの場合は、不明を選択すること。
79	年間収入	年収は、提出する所得証明書を参照し、数字で入力すること。 家計支持者 1 が不在(死別等)の場合は、【0】と入力すること。
80	会社名等	職業(会社名)は会社名等を正しく入力すること。会社名がない場合は職業(主婦・主夫など)を入力すること。 家計支持者 1 が不在(死別等)の場合は、【なし】と入力すること。
81	業種	該当するものがない場合は不明を選択し、備考欄に入力すること。
82	備考	居住形式・業種で該当するものがない場合は、その理由をこちらに入力すること。(例：死別等)
家計支持者 3　※本人が家計支持者(独立生計者)の場合は「家計支持者 3」に入力すること。		
83	続柄	該当するものを選択すること。
84	姓名	応募者本人の親権者(または準ずる者)の姓名を入力すること。
85	年齢	4 月 1 日時点の満年齢を数字で入力すること。
86	居住形式	該当するものを選択すること。 本人の場合は、同居を選択すること。
87	雇用形態	該当するものを選択すること。
88	年間収入	年収は提出する所得証明書を参照して入力すること。
89	会社名等	職業(会社名)は会社名等を正しく入力すること。
90	業種	該当するものを選択すること。
91	備考	追記する内容があれば入力すること。
学費		
92	授業料(年額)	年額を数字で入力すること。小数点 1 位未満は切り捨て。 ※入学金・施設費は含まない。
93	授業料減免(決定・申請中の別)	決定の場合は、決定・申請中の場合は申請中を選択すること。
94	授業料減免　減免額	授業料減免の決定または、申請している者は、金額(万円単位)を入力すること。 小数点 1 位未満は切り捨て。 金額が不明な場合は、未定と入力すること。
通学状況等		
95	通学状況	該当するものを選択すること。
96	住居の種類(自宅外通学者)	
97	家族からの援助(月額)	両親等からの仕送り等、家賃含む。総額を入力(万円単位)。 援助がない場合は【0】と入力すること。
98	家賃(月額)	自宅通学の場合は【0】と入力すること。
本会以外の奨学金　※複数ある場合はすべて入力すること。		
99	国の給付型奨学金(年額)	2022 年度に受給する場合は、金額を入力すること(万円単位)。 小数第 1 位未満は切り捨て。
100	他奨学金 1(受給決定) 名称	複数ある場合はすべて入力すること。

101	他奨学金 1(受給決定) 月額	名称：(例：○○奨学財団) 月額：(例：3 万円) 給与・貸与の別：該当する方を選択すること。
102	他奨学金 1(受給決定) 給与・貸与の別	
103	他奨学金 2(受給決定) 名称	
104	他奨学金 2(受給決定) 月額	
105	他奨学金 2(受給決定) 給与・貸与の別	
106	他奨学金 1(応募中) 名称	
107	他奨学金 1(応募中) 月額	
108	他奨学金 1(応募中) 給与・貸与の別	
109	他奨学金 2(応募中) 名称	
110	他奨学金 2(応募中) 月額	
110	他奨学金 2(応募中) 給与・貸与の別	
本会奨学金受給歴について(応募者本人)		
111	本会奨学金受給歴 高校	過去に本会奨学生として採用された者は、受給年数を選択すること。 ない場合は「0 年」を選択すること。
112	本会奨学金受給歴 大学(学部)	
113	本会奨学金受給歴 修士・専門職	
114	本会奨学金受給歴 博士	
兄弟姉妹などその他の家族情報		
115	本会奨学金応募家族(今年度)	今年度、応募者の兄弟姉妹・その他家族が本会奨学金(高校・大学・大学院)を応募している場合、ない場合は、なしを選択すること。
兄弟姉妹・本会奨学金応募者		
116	本人との続柄	該当するものを選択すること。
117	姓名	通称名(日本名)ではなく、本名(民族名)で入力すること。
118	応募種別	該当するものを選択すること。
119	学校種別・課程	
120	学校名	略さずに正式名称で入力すること。 例：大阪府立○○高校
121	学年	該当するものを選択すること。
兄弟姉妹・その他家族応募者 2・3 については、応募者 1 人目と同様。		
その他就学者		
122	姓名	通称名(日本名)ではなく、本名(民族名)で入力すること。
123	学校名	略さずに正式名称で入力すること。例：大阪府立○○高校
124	学年	該当するものを選択すること。
その他就学者 2・3 については、その他就学者 1 人目と同様		
125	就学者以外の家族	応募者本人から見て、入力すること。 ・就学者：学校教育をうけているもの(浪人生・予備校生も含む、幼稚園、保育園などは含まない) 例)・姉(別居/独立生計・会社員/既婚) ・兄(別居/独立生計・会社員) ・弟(同居/同一生計・病気療養の為、就労できず) ・子(同居/同一生計・保育園)

その他世帯情報		
126	就学者総数	本人を含む、その他就学者の総数を該当するものを選択すること。 (浪人生・予備校生も含む、幼稚園、保育園などは含まない)
127	家庭状況	該当するものを選択すること。
128	家族状況(備考)	該当するものを選択すること。
129	生活保護受給	該当するものを選択すること。
その他の情報のご登録		
130	奨学金応募理由	家庭事情等、奨学金を必要とする理由を具体的に入力すること(200～1000 文字)。
131	自己 PR	入学の動機・学業状況・大学生活の目標と卒業後の進路(希望)等を具体的に入力すること(400～1200 文字)。
132	母国語理解度	該当するものを選択すること。
133	部活・課外活動等	所属する部活などについて入力すること。
134	技能・資格	取得している資格や技能について入力すること。
135	特技・趣味	趣味または特技について入力すること。
写真や書類(画像)のアップロード		**※利用可能拡張子は、png, jpeg, jpg, gif, svg のみ。pdf は不可。** **※証明書類は必ず原本を画像に撮ること。(スキャンアプリ推奨)**
136	顔写真(証明写真)	3 カ月以内に撮影した、証明写真画像をアップロード(ドロップ)すること。
137	在学証明書	2022 年 4 月 1 日以降発行のもの。**※学生証(カード)・入学許可書不可**
138	学業成績証明書	学校で発行された正式な証明書をドロップすること。
139	国籍・在留資格を証明する書類 **(表面)**	「特別永住者証明書」「在留カード」等は「表裏両面」必要。 有効期限切れ、切り替え中、紛失などの場合は自治体が発行した「住民票の写し(応募者本人の国籍及び在留資格等が表示されているもの、3 カ月以内発行)」をドロップすること。 ※必ず、表裏(2 枚)をドロップすること。
140	国籍・在留資格を証明する書類 **(裏面)**	
141	収入･所得証明書類 (家計支持者 1 人目)	※父母がいる場合は「収入･所得証明書類(家計支持者 2 人目)」も必須。「源泉徴収票」、「住民税課税決定通知書」などは不可。 役所で発行された 2021 年度(令和 3 年度)分(2020 年 1 月 1 日～12 月 31 日)の収入が記載された「所得証明書(課税/非課税証明書)」を提出すること。 留学生は上記期間の「소득금액증명」、無収入の場合は「사실 증명」を提出すること。日本語・韓国語以外の場合は、必ず翻訳をつけること。
142	収入･所得証明書類 (家計支持者 2 人目)	
143	自己 PR 画像・その他証明書類	美術系の専攻者は、作品の写真等も合わせてドロップ(アップロード)すること(5 枚まで可能：項目追加)。必ずタイトルを入力すること。

■手引 Ⅳ：登録内容の訂正・変更について

■登録内容の変更を希望する場合(この方法以外では、一切受付ないので、注意すること。)

①「応募登録内容 訂正・変更届」の書式は、本会ホームページからダウンロードすること。

② 「変更届」に必要事項を入力・記入の上、所定(用紙に記載)の E メールアドレスに送信すること。

※ **ファイル名**は「ID123456 金奨学 応募登録内容 訂正・変更届.pdf」のように、

"ID"+"インターネット受付番号 6 桁"+"姓名+"応募登録内容訂正・変更届"とすること。

■登録情報の確認と帳票出力(参考画像)

【※本会評価値】(GPA ではないので注意すること)

★成績評価値計算表(参考画像)

学業成績計算表　　学部2年生～大学院生

科目数を入力すると自動計算されます(成績証明書に基づいて入力して下さい)

評定			科目数		評価点		計
秀・優	S/A	80点以上		×	5	＝	
良	B	70～79点		×	3	＝	
可	C	60～69点		×	1	＝	
			計　0			計	0

評価点計　0 / 科目数計　0　＝　※本会成績評価値

※注意

・学部2～4年生 → 入学から前学年度までの全取得科目について入力
・修士・専門職1年生 → 学部での全取得科目について入力
・修士・専門職2年生以上 → 修士課程での全取得科目について入力
・博士1年生 → 修士課程での全取得科目について入力
・博士2年生以上 → 博士課程での全取得科目について入力

学業成績計算表　　学部1年生

科目数を入力すると自動計算されます(高校の成績証明書に基づいて入力して下さい)

高校3年次の全取得科目について入力すること(3年制でない場合は卒業年度の成績)

5段階	10段階	スコア(高卒認定)	韓国の高校(9等級)	科目数		評価点		計
5	10・9	90～100	1・2		×	5	＝	
4	8・7	70～89	3・4		×	4	＝	
3	6・5	50～69	5		×	3	＝	
2	4・3	30～49	6・7		×	2	＝	
1	2・1	～29	8・9		×	1	＝	
				計　0			計	0

評価点計　0 / 科目数計　0　＝　※本会成績評価値

2022 年度 大学・大学院奨学生 応募者	受付番号		顔写真
	応募日		
	応募種別		
	前年度奨学生番号		

基本情報

姓名		通称名	
姓名(カナ)		ハングル	

性別		生年月日	
年齢		国籍	
在留資格		留学生学内選考	
留学生推薦番号		出生地 (国)	
出生地 (都道府県・都市名等)		渡日年月	

現住所			
自宅電話番号 ・緊急連絡先		携帯電話番号 (応募者本人)	
メールアドレス①			
メールアドレス②			
帰省先			
帰省先住所			

在学校情報

学校所在地		国公私立種別	
学校名		大学種別	
学校名(カナ)		学部/研究科	
学科/専攻			
学部/研究科 分類番号			
研究テーマ (大学院生のみ)			
入学年月日		卒業・修了見込 年月日	
課程		学年	

学歴

年　　月	学校名	
		小学校卒業
		中学校卒業
		高等学校卒業
		入学
		卒業(見込)
		入学
		卒業(見込)
		入学
		卒業(見込)
その他の学歴		
最終出身校		

朝鮮学校 (日本所在)通学歴		韓国系学校 (日本所在)通学歴		本国の学校 (韓国所在)通学歴	

主な職歴

勤務先名等	
勤務期間	～
備考 (その他の職歴等)	

兵役など

兵役期間	～
備考 (その他の兵役等)	

学業成績と単位

成績評価値		取得単位数	単位
卒業・修了に 必要な単位数	単位	履修時間数 (医歯薬系等)	時間

研究業績(大学院生のみ)

既発表論文 (海外誌)	件	学会発表:海外 (口頭)	件	学会発表:国内 (口頭)	件
既発表論文 (国内誌)	件	学会発表:海外 (ポスター)	件	学会発表:国内 (ポスター)	件

父母及び家計支持者

家計支持者1（父）	姓名		年齢	才	居住形式	
	会社名等			雇用形態		
	業種			年間収入	万円	
	備考					
家計支持者2（母または配偶者）	姓名		年齢	才	居住形式	
	会社名等			雇用形態		
	業種			年間収入	万円	
	備考					
家計支持者3	続柄					
	姓名		年齢	才	居住形式	
	会社名等			雇用形態		
	業種			年間収入	万円	
	備考					

学費・経済状況等

授業料(年額)	万円	授業料減免		万円
通学状況		家族からの援助（月額）	万円	
住居の種類（自宅外通学者）		家賃（月額）	万円	

本会以外の奨学金

国の給付型奨学金（年額）	万円

受給の有無	奨学金名称	金額（月）	給与・貸与の別
受給決定		万円	
		万円	
応募中		万円	
		万円	

本会奨学金受給歴

高校		大学(学部)		修士・専門職		博士	

本会奨学金応募家族（今年度）

続柄	姓名	応募種別	学校種別・課程	学校名	学年

その他就学者

姓名	学校名	学年

就学者以外の家族

就学者以外の家族	

その他世帯情報

就学者総数		家庭状況		家庭状況備考	
生活保護受給					

その他本人情報

母国語理解度	
部活・課外活動等	
技能・資格	
特技・趣味	

奨学金応募理由

自己PR

ー奨学金申請時の心得についてー

東北大学 教育・学生支援部 留学生課 国際教育係

2019.02.01

１　申請の前に

・募集要項をよく読み、資格を満たしているか確認してください。応募条件や支給内容だけでなく、採用後の義務なども確認してください。（認定式や交流会などへの出席は必須、財団により定期的な課題提出などもあります）

・申請に必要な書類が手元にあるか、必ず確認してください。特に前課程の成績証明書の不足が多いので注意してください。

・他の財団に大学推薦または直接応募により申請中の場合は、**結果が未定でも新たに申請することは出来ません**。（ただし、双方の奨学金が併給可の場合を除きます）

・財団によって選考方法が異なります。面接がある場合はあらかじめ交通費、場所、日時などを確認し、必ず出席できるようにしてください。

２　申請書類について

・継続申請の場合も、前回の内容をそのまま流用せず、新たに願書を作成してください。

・消えるボールペン（フリクション）は使用せず、必ず黒のボールペンで記入してください。（消えるボールペンで書かれた書類は財団に提出できません）

・選考の際、申請書類によってあなたの印象は大きく左右されます。選考者（相手方）が読みやすいよう、丁寧な記載を心がけてください。

・書き損じた場合は修正液（テープ）や斜線での訂正はせず、新しく書き直しましょう。

・学部・研究科名等は省略せず、正式名称で記入してください。

・記入上の注意や指定には必ず目を通し、それに従って記入してください。

・相手方に失礼のないよう、記入欄の７～８割を目安に記入するようにしてください。

・すべて書き終えたら、記入漏れなどがないか必ず確認して下さい。特に記入することがない欄も、「なし（数字なら０）」等と記入して下さい。

※エクセルデータから出力する場合、すべての文字が切れずに枠内に収まっているか確認してください。

３　その他

・応募条件や申請書の書き方など、分からないことがあった場合は所属部局の奨学金担当係に問い合わせてください。個人で財団へ直接問い合わせはしないこと。

・総長特別奨学生や授業料も支給される奨学金に採用された場合など、支給期間中の授業料免除申請が出来ない場合があります。必ずあらかじめ所属部局の奨学金担当係に確認してください。

・大学を通さず直接応募または継続受給の申請等を行う場合は、必ず前もってその旨を所属部局の奨学金担当係に連絡してください。

*2022年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

私費外国人留学生身上調書

1. 身分・名前等

身　分	学部　　年　　学部研究生 MC　年　　DC　　年　　大学院研究生			学籍番号	
学科名 専攻名		指導 教員		研究室 TEL	
氏　名	（漢字　　）			既婚・未婚	
生年月日	年　月　日生 （年齢　　才）			国　籍	
東北大学 入学前の 在籍大学		年　月　卒業・修了			
東北大学 での移動 （新しい順番に）	在籍身分	在籍期間			
		年　月 ～ 現在			
		年　月 ～　年　月			
		年　月 ～　年　月			
住　居 （○で囲む）	ユニバーシティ・ハウス青葉山 ユニバーシティ・ハウス三条（Ⅱ・Ⅲ） ユニバーシティ・ハウス片平 国際交流会館東仙台会館 県・市営住宅・民間アパート（住所　　）			国際交流会館三条第一会館 国際交流会館三条第二会館 ユニバーシティ・ハウス長町	

2. 家族状況（母国の家族情報を含むこと。）

*配偶者が学生の場合、在籍学校名・所属学部研究科・学年を記入する

氏　名	続柄	年齢	同/別居	職業	勤務先または学校名
	父				
	母				

*

*2022年4月以降に提出したことがある場合は提出不要です。

家計状況申告書

在　籍	学部　　年　　学部研究生 MC　　年　　DC　　年　　大学院研究生	学籍番号	
氏　名			

家計状況

＊2021年4月から2022年3月までのあなたの家計状況について、1ケ月を平均して記入してください。
＊2021年10月入学の方は、2021年10月から2022年3月の家計状況について、1ケ月を平均して記入してください。

収　　入		支　　出	
自己資金（預金）	円	授業料	円
仕送り	円	住居費	円
奨学金	円	生活費	円
その他（　　）	円	その他（　　）	円
合　　計	円	合　　計	円

特記事項（経済状況について特に強調したいことがあれば記入してください）

奨学金受給状況

＊これまでに奨学金をもらったことがありますか？　　有り　・　無し　（〇で囲む）
＊有る場合は、以下に記入してください。

もらっていた期間	月額・年額（〇で囲む）	奨学金の名称
年　　月　～　　年　　月	月額・年額　　円	
年　　月　～　　年　　月	月額・年額　　円	

*この2年間で申請して不採用だった奨学金名と申請した年を記入して下さい。（例：2021年　〇〇奨学金）

授業料免除の状況（研究生の期間を除く）

＊該当箇所を〇で囲む

2022年度	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	申請中	申請したが不許可だった
2021年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	－	申請したが不許可だった
	前期	全額免除	半額免除	1/3免除	－	申請したが不許可だった
2020年度	後期	全額免除	半額免除	1/3免除	－	申請したが不許可だった